



上海リビングストーンアメリカンスクール・
日本部・バイリンガル幼稚園

本気であそぶ 幼稚園

-あそびこそ、学び-

ごあいさつ



バイリンガル幼稚園 園長
武田 仁美



私は小学校に上がるまで、山と川と海に囲まれた田舎で育ちました。
毎日、近所の友達と屋根にボールを投げてキャッチする“屋根ボール”をしたり、虫を捕まえたり、泥んこになってあそんだり。
夏には井戸で冷やしたすいかを食べ、川で泳ぎ、空の雲を見て「あっ、もうすぐ雨が降るな」と感じるような、自然と寄り添う毎日でした。

思えば、あの頃の“あそび”は、ただ楽しいだけでなく、たくさんのことを教えてくれました。

思いどおりにいかなくても工夫してみること、友達と力を合わせることに、失敗してももう一度やってみようと思うこと。

そうした経験が、私の原点になっています。

今私は、バイリンガル幼稚園で園長をさせていただいております。

私たちの園には広い敷地と緑があり、子どもたちが夢中になって“本気であそぶ”ことができる環境があります。

幼少期は、とにかく思いきりあそんでほしい！

私は思います。

失敗したり、泥んこになったりしながら夢中で取り組む中で、子どもたちは自分の力を信じ、仲間と関わり、生きる力を育んでいくと――。

この幼稚園で過ごす毎日が、子どもたち一人ひとりの「生きる力の根っこ」を育てる時間になることを願っています。

上海リビングストーンアメリカンスクール・日本部・バイリンガル幼稚園
園長 武田仁美



何してあそぶか
相談中・・・

じぶんで
やるよ！

ピカピカ
大作戦

じぶん

毎日の生活や友達とのかかわりを通して、じぶんのことをやりとげる力や、人とのつながりを大切にする力が自然と育っていきます。そこから生まれる思いやりや粘り強さといった未来につながる力を育てていきます。

マイクに
ドキドキ・・・

好きな自分に
変身！

これわたし！
びっくりサイズ

うごく

空手やHIPHOP、P.E.（運動）では、外部の専門講師と一緒に新しい動きや表現に挑戦します。外あそびもたっぷり取り入れ、のびのびとからだを動かす中で、俊敏さや柔軟さ、バランス感覚やリズム感が育ちます。ときには小さなケガをすることもあります。その経験を通して大きなケガを防ぐ力へとつながります。

おっとっと

段ボール
いもむし

からだ全部で
チャレンジ！

押忍！

ぜんぶが全力！

Fun Vibes,
Good Times!

柏餅
あま〜い♡

わっしょい♪

願いを込めて

老师你好

Good job!

Kamusta!

Let's make
Origami together!

Happy
Halloween!

世かい

母語としての日本語を土台に、日本の四季や伝統を感じながら、世界の文化やことばにふれることで、子どもたちはちがいを楽しみ、広い視野を持つ力を育んでいきます。



ぼくたち秋の
探検隊

セミのめけがら
バッジ

どろだんご
名人

しぜん

自然にふれ、四季の移り変わりを感じる体験は、
子どもたちの感じる力や心の豊かさを育てます。
空の色や風のにおい、木々や虫との出会い。そう
した日々の小さな気づきや発見が、子どもたちの
世界をどんどん広げていきます。



雲ウオッチング

木の実いっぱい
あつめたよ

ピクニック気分で
ほっと一息

落ち葉シャワー



何つくる？

みんなで
ごろん

作って
おいしい

ようこそ
パン屋さんへ！

つくる

絵を描いたり音やリズムで楽しんだり、想像をぐんぐんふくらませる中で、「考える力」や「工夫する力」、「ひらめき」が育っていきます。そんな体験を積み重ねることで、子どもたちは自分の思いをのびのびと形にできる子へと成長していきます。

段ボールハウスが
できちゃった！

トントン！
いいおと～♪

じゃーん！





みんなで作る ハレの舞台

運動会やパフォーマンスデー（英語のダンスや日本語の劇の発表）は、日々のあそびから自然に広がっていきます。子どもたちはワクワクしながら取り組み、本番はあそびの延長線。終わったあともごっこあそびとして続いていき、楽しさと自信が次の成長につながります。





インリッチドクラス との交流

同じ日本部の日英バイリンガル小学部（インリッチドクラス）との交流も行っています。

幼稚園と小学部が併設している環境だからこそ生まれる、年齢を超えた関わりや自然な学びのつながりを大切にしています。

特に年長児にとっては、小学生との関わりが大きな刺激になります。

「お兄さん・お姉さんの歌って素敵だな」「ぼくたちも1年生になったらできるかな」など、小学生の姿に憧れをもちながら、“自分ももうすぐ小学生になる”という気持ちが自然と育っていきます。

また2026年度からは小学部の先生も幼稚園にあそびに来てくれる予定です。いつもとはちがう先生たちと触れ合う中で、子どもたちにとっても新しい発見がたくさんあることでしょう。

インリッチドクラス
Instagram



@SLAS_ENRICHED

インリッチドクラス
X



@slasjapan



日本語を大切にすること

バイリンガル幼稚園は、日本語を大切にしています。

「日本語を母語として育てたい」

そんな思いを持つご家庭のお子さまが、日本語の力をしっかりと育てていけるよう、私たちは日本語で、保育を行なっています。

母語が育つことは、子どもたちにとって“心の根っこ”を育てること。自分の気持ちをことばで表したり、考えをまとめたりする力は、すべてここから始まります。

三歳から六歳は、母語をもっとも自然に吸収できる大切な時期です。この時期に、ことばを通して人とつながり自分の思いを伝え合う経験を重ねることが、これからの学びにつながる大切な力を育てていきます。

また、日本語の持つやさしさや美しさも、子どもたちに感じてほしいと思っています。日本語には、自然や心の動きを繊細に表す美しいことばがたくさんあります。たとえば雨ひとつでも「しとしと」「ざあざあ」「ぽつぽつ」と、耳や心で感じたままに表現できます。こうした言葉に触れることで、子どもたちは豊かな感性を育み、言葉の奥にある文化や心の動きを味わうことができます。



研究からわかる「母語の力」の大切さ

海外の教育研究でも、「母語の力」が第二言語の学びや学力に深く関わる事が明らかになっています。アメリカで行なわれたThomas & Collier (1997) の大規模調査では、

『第一言語（母語）の読み書きの力が高い子供ほど、第二言語（英語）での学力の伸びが速く、安定していることが報告されています。逆に、母語の力が十分でない子どもは、第二言語の理解や表現に時間がかかる傾向が見られました。』

さらにGenesee (2000) の研究では、

『母語がしっかり育っている子どもは、第二言語を学ぶときに「文法の仕組み」や「言葉の意味の違い」に気づく力（＝メタ言語能力）が高く、より深い理解につながると報告されています。』

つまり、日本語をしっかり育てることが、英語をはじめとする他の言語を学ぶ力の“土台”になるのです。

バイリンガル幼稚園の取り組み

あそびやおしゃべり、歌や読み聞かせなど、日々の触れ合いの中で、子どもたちが日本語で考え、感じ、表現する力を育てていきます。

その確かな言葉の力こそが、将来どんな国・どんな言語の中でも、自分らしく生きる力につながると、私たちは考えています。



**SHANGHAI LIVINGSTON
AMERICAN SCHOOL**

SLAS CORE VALUES



Compassionate Citizens



『仲のよい子ども』

人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝えあう喜びを味わう。



Confident Individual

『自分でできる子ども』

幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。



Creative Thinker

『考える子ども』

身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりしながらそれを生活に取り入れる。



Proficient Communicator

『伝えることができる子ども』

感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。



Growing Up with SLAS!



**Shanghai Livingston American School
Bilingual Kindergarten Japanese Division**

☎ 021-6238-9853

✉ lasjapan@laschina.org

🌐 lasjapan.com

📍 580 Ganxi Rd, Changning, Shanghai

